

編集後記

- 2012年の夏から秋にかけて、三田のキリギリス図鑑作成のため、夜間にあちこちを歩き回りました。これが実に楽しく、暇を見つけては主に職場のある有馬富士公園を中心に散策していました。どの種もそれぞれに思い出深いのですが、中でも真夏にススキにのぼって大きな声で鳴くカヤキリにすっかり惚れ込んでしまいました。メスは大きな図体のせいで俊敏に飛び跳ねることができず、見つかるとススキの葉の上に少し移動して前脚を伸ばして顔を埋め、葉のふりをしてやり過ごそうとします。この様子がなんとも面白く、かわいく思えて仕方ありませんでした。
- 他にもヒサゴクサキリも印象深いキリギリスでした。聞き逃しそうなほどの小さな「シチッ」という声を頼りにメダケにしがみつく姿を見つけたのはなんとも嬉しいひと時でした。
- クツワムシは局所的な分布様式が興味深く、なによりも愛すべき虫のひとつです。撮影のため生きたまま持ち帰ったのですが、たとえ一匹でも部屋で鳴かれるとほとんど騒音ですしなにより近所迷惑です。そこで鳴かないよう、クツワムシをティッシュペーパーで飴包みにして、一晩過ごしてもらいました。
- 2012年はどんな虫との出会いが待っているのでしょうか。春を目前にして胸が高鳴ります。
- 第35巻第1号は2012年12月末の発行の予定です。皆様の投稿お待ちしております。

(編集長 中峰 空)

きべりはむし 第34巻 第2号

2012年3月30日 発行

編集 きべりはむし編集委員会

発行 兵庫昆虫同好会・NPO法人こどもとむしの会

事務局 きべりはむし編集委員会 kiberihamushi@konchukan.net
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 神戸大学農学部昆虫科学研究室
NPO法人こどもとむしの会 事務局気付

きべりはむし web サイト：<http://www.konchukan.net/kiberihamushi>